

西浦通信

2023/08/23 発行

第7号

龍谷大学 政策学部
西浦まちづくり研究会

執筆：柿木 (H)、胡 (H)、松田 (H)、小山 (K)、羽田 (K)、松村 (K)

編集者：中岡友里 (H)、編集責任者：服部圭郎 (龍谷大学教授)

データで西浦を読む

西浦の人口（総集編）

今回は、これまでの1-6号に記した人口編の総まとめです。

まず、西浦町の人口は令和2年時点で6469人で、人口密度は約14975人です。これは、全国の約6663人、京都市の約1768人と比較して、人口密度が高いことが読み取れます。

続いて、西浦町の人口構成の特徴として、外国人比率の高さが挙げられます。西浦町の人口に占める外国人の比率は10.8%と、全国の2.2%、京都市の2.7%と比較するとその高さが読み取れます(令和2年国勢調査)。ま

た、大学生が多く居住していることも西浦町の人口構成の特徴です。これは留学生の居住も一因に考えられます。西浦町には1099人の大学生等(短大高専生75人、大学院生33人含む)が居住しています。(令和2年国勢調査)。つまり、大学生等が全住民の約16.9%を占めているのです。

他にも、西浦町は単身世帯が多いという興味深い特徴が挙げられます。大学生の居住者が多いということで、下宿生に伴う学生の単身世帯が多いのではと推定されます。西浦町の総世帯

4445世帯のうち3289世帯が単身世帯で、総世帯のうちおよそ74%を占めています。この数字は全国の38%、京都府の41%と比較するとその高さがうかがえます(令和2年国勢調査)。

このように、西浦町には学生と外国人が多い特徴があることから、若い力や多様な価値観を持つ人たちが多く住んでいると言えます。最後に、現在進行形で進む人口減少・高齢化社会に向けて、西浦に住む人々が互いに支え合える持続可能な西浦であり続けてほしいと心より願います。(松田)





西浦歳時記



8月は旧暦で「葉月」といいます。旧暦の8月は現在の9月ごろにあたり、葉月の由来は秋に関係しています。一般的には木の葉の紅葉が進み、葉が落ちる月、「葉落ち月」が省略され「葉月」となったとされています。また、稲の穂を張る月「穂張り月」、初めて雁がわたってくる月「初来月」を省略して「葉月」と呼んだ説もあります。そんな8月は「盆」の時期であり、亡くなった先祖を迎える盆踊りや盆供養が行われます。お盆によく見るキュウリの馬とナスの牛は「精霊馬(しょうりょううま)」と呼ばれ、お盆に家へ戻ってくるご先祖様の乗り物です。キュウリは、ご先祖様が早く帰ってこられるように脚の速い馬として、ナスは、たくさんのお供え物を乗せてゆっくりと戻れるように牛として見立てられているそうです。8月は他にも、夏祭りや花火大会、海水浴等が楽しめるとても魅力的な月と言えるでしょう。(柿木)

西浦うまいところルポ

— kenづya BAL (ケンズヤバル)

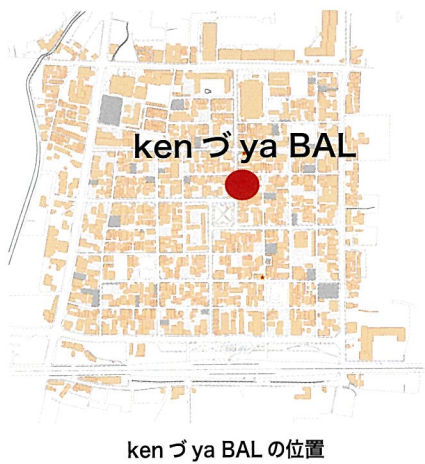
第7号の西浦うまいところルポでは、京都市伏見区深草西浦町に位置し、特徴的な赤い瓦屋根が目印の洋風居酒屋「kenづya BAL」を訪れました。このお店は京阪藤森駅から徒歩8分とアクセスも便利です。

店内に入ると、まず目に入るのはそのゆったりとした洒落た空間です。シンプルでありながら洗練されたインテリアが心地よく、一歩足を踏み入れると日常を忘れて美味しい料理とワインを楽しむことができます。

そして、このお店の一押しメニューは、原木から一枚一枚スライスされたスペイン産「ハモンセラーノ」の生ハムです。じっくりと熟成されたこの絶品生ハムは、薄すぎず厚すぎない絶妙な厚みで提供されます。細かな霜降りの脂は舌の上でトロけるような食感があり、風味豊かな香りと肉本来の甘みと旨味が口の中に広がります。この生ハムは特にワインとの組み合わせが絶妙だそうなので、一緒に楽しむことをおすすめします。私自身ここでビザ

を頂いたのですが、生地のもちもちとした食感と、チーズとトッピングの絶妙なバランスが素晴らしかったです。

こちらのお店では、学生の皆さんに学生限定の特別コースを提供しております。それはなんと、90分間の飲み放題付きで3000円のコースです！友達の集まりに、デートに、そしてちょっと贅沢な一人の時間にもぴったりなお店だと思います。ぜひ一度訪れてみてください。(胡)



kenづya BALの位置

特集 まちカレフェス@西浦

7月1日に西浦中公園にて開催されたまちカレフェス@西浦。その様子を振り返ります。

■祭りの経緯

西浦町で行われていた年3回の祭りがダルクの宿泊施設建設問題やコロナの流行も重なりしばらく中止になっていました。住民の方へのインタビューから住民同士のコミュニティ形成の場であった祭りを再開させたいと言う意見が多かったので学生が関わって祭りを再開させようという動きになりました。また、この祭りでは、和代ゼミの学生が留学生とダルクの方々と1店舗ずつ出店しました。多種多様な人々が暮らしている事が西浦町の特徴でもあるため、この祭りでは、外国人やダルクの方々と違った様々な立場の人達にも祭りに参加してもらいました。外国人やダルクの方々と交流する場も少なく、偏見が残っている部分もあり、祭りで交流してもらうことで、外国人やダルクの方々に対する偏見を少しでも減らせるのでは無いかと考えました。



■留学生との出店

・詳細

西浦町の西浦中央公園で7月1日の17時～20時頃にお祭りが開催されました。コロナ禍の中でここ3年ほどは開催が中止されていましたが、今年は龍谷大学政策学部のゼミと町内会、ダルクの協力の下お祭りを行うことに成功しました。お祭りではゼミ、町内会、ダルクなどから複数の屋台が出店された。たこ焼き、カレー、かき氷など様々な食べ物が販売されました。ゼミの屋台では大学の留学生と協力して屋台の運営を行う姿も見られました。食べ物を購入する際には金銭トラブルを防ぐため事前に金券を買って頂くようにしました。また、お祭りには7月12にわたって龍谷大学で開催された「街づくりカレッジ」に参加された全国各地の学生も参加しました。お祭りの中では学生や地域住民などの間で様々な交流が見られました。お祭りは終始賑わいを見せ盛況のうちに終わることができました。

■ダルクの方々との出店

・詳細

まちかれフェス@西浦で、私たち(羽田、松村)は、西浦公園前にある施設、京都ダルク様の出店をお手伝いをさせて頂きました。下記は京都ダルクの紹介文です。

「京都ダルクには、薬物依存症からの回復を目指す仲間が今日も集まっています。行き場をなくした仲間たちに安心して生活してもらえる居場所づくりを私たちは目指しています。

毎日笑いの絶えないこの場所で「今日一日」ベストを尽くして、今の自分に出来ることに取り組んでいます。」

・感想

コロナの影響により中断されていた祭りですが、西浦町地域住民の方々と龍谷大学の学生の協力により無事開催することができました。祭りを行うまでには様々な問題がありました。それらを無事乗り越え、開催まで辿り着き大成功という形で幕を閉じることができて本当に良かったと思います。最初は何も知らない地域で祭りを開催する事になり、本当にうまくいくのか、人が来るのかなど心配事の方が多くネガティブな思考でした。

私たち龍谷大学政策学部村田和代ゼミは出店をする際、留学生と共に何を出すか決めました。その際にうまくコミュニケーションが取れず、意思疎通に戸惑っていました。ですが留学生の協力も得て、開催日までに無事準備することができました。当日も沢山の人が参加してくださり賑わいをみせていました。公園いっぱいにお店が並んでおり、西浦町の祭り復活につながるのではないかと思います。

私の人生にとってもいい思い出がまた一つ増え、とても感慨深いです。お祭りを通して新たな経験をすることができてお店を出して祭りをやりきるという達成感を感じることができました。最初は心配事でいっぱいでしたがとてもとても幸せな時間を過ごすことができました。来年度もぜひ行いたいと思います。ありがとうございました。



・感想

今回は、京都ダルクの皆様にはフランクフルトとたこ焼き、ダルクの卒業生である有留さんに似顔絵屋を出展して頂きました。小雨が降っていた事もあり、お客様が来てくれるのか心配していましたが、まちかれフェスが始まり、すぐに列ができ、非常に多くの方に購入していただくことができました。また、ダルクの皆様は元々、西浦公園で行われていた祭りに出店していたこともあり、オペレーションが非常に上手く、スムーズに提供することが出来ました。

京都ダルクの皆様、運営スタッフ、お客様、皆様のおかげで、祭りは大成功に終わることができ、非常に良い思い出となりました。また、機会があれば一緒に出店させていただきたいです。



2023 まちカレフェス

@ニジウラ



日時：2023年7月1日(土) 17時～20時予定
場所：深草西浦中公園
主催：龍谷大学まちカレフェス@西浦実行委員会
内容：①屋台の出店/ ②ステージによる音楽♪



お祭りを開催するにあたってご尽力いただいた皆さま方に感謝申し上げます。